



名古屋柳城短期大学

# ちゃべるにゅーす

第6号

2003年4月1日

本学の建学の精神「愛をもって仕えよ」は、新約聖書の「ガラテヤの信徒への手紙」の5章13節からとられたものです。それによると、「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」と述べられています。この場合、肉というのは神から離れた利己的・利己的な人間の性向を意味しています。また愛はアガペーを基本としており、それはキリストの十字架の死によって示された自己犠牲的な無私の愛であり、人間間の愛情や友情や連帯感を改革し昇華するものであります。

「ガラテヤの信徒への手紙」はパウロによる54年頃の作品で、4つの福音書より前に書かれています。この「手紙」では2つのテーマが説かれています。第1のテーマは信仰義認、即ち割礼などの律法遵守を義務づけたユダヤ主義者の説く律法主義ではなく、信仰によって神との正しい関係に入れられるという信仰義認の課題です。第2のテーマは新しい倫理の実践であり「手紙」の後半、特に5章以下で説かれています。パウロはキリストの愛によって働く信仰こそ大切であることを強調し、愛をもって互いに仕えなさいという倫理的实践を勧めています。

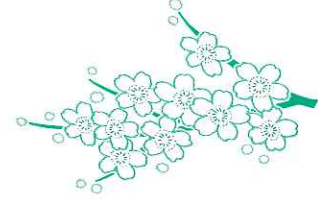
ところで私たちは、日頃の生活の場では、善悪、優劣についての判断など様々な価値判断をしながら暮らしています。さらに大学や短大の

学生の場合、学問的価値としての真、倫理的価値としての善、芸術的価値としての美などの価値の他、様々な価値判断や価値観のネットワークの中で学習を進めています。本学ではさらに具体的に保育や介護に必要な知識・技術を磨き、感性を豊かにし、試練に耐え抜く意志の力、仕事をやりぬける健康を高めることを重視しています。また特にこれからの人生において大切なものは、その人の持つ価値観であり、信仰であると思います。そこでキリストの愛から学んだ先輩たちの愛の実践の中から、小川正子（1902-1943）さんの信仰と実践の例をみてみましょう。

彼女は岡山県の長島愛生園というハンセン病療養所の医師として献身しましたが、特にその医療活動の手記『小島の春』（1938年）の中に、次の歌がのっています。「葛の花さきそむ秋を山峡の みち分け分けつ病友を尋ぬる」。ここで山峡はやまあい、病友はとも、と読ませています。当時の社会では差別されていたハンセン病患者を、友として探し求め、医療に当たろうとするキリスト者としての彼女の隣人愛に感動させられます。私たちもこのような信仰に支えられた隣人愛の実践から、深く学びたいと思います。

## 価値観と信仰

学長 田浦武雄



## 水曜日の礼拝から



佐藤直子  
保育科2年

私は、名古屋柳城短期大学に入学し、生まれて初めてチャペルの中に入れていただきました。今まで、チャペルを見たことも、そこに入ったこともなかったので、正面に飾られた大きな十字架を見て驚きました。

入学式の時に、先生方や先輩方、保護者の方など全員で歌った聖歌がとても美しく、まだ心に残っています。その聖歌がきっかけになり、キリスト教について詳しく学んでみたいと思いました。私はこれまで、何かに積極的に取り組むことができなかつたけれど、自分を変えるためにも思い切ってクラスの宗教委員に立候補しました。

宗教委員は、毎週水曜日の礼拝で聖書を読ませていただいています。私も何度か聖書を読む機会をいただきましたが、最初は間違えるのではないかという不安が先にたち、とても緊張していました。しかし、何度も読んでいくうちに私だけでなく、まわりの様子も見えるくらいのゆとりが出てきました。また、ただ聖書を聞いているときとは違い、聖書を読むことによってその内容を少し理解することができました。聖書は難しいというイメージがあると思いますが、皆さんも繰り返し読んでいくと内容が理解できると思います。

十二月のクリスマス礼拝は、リースで飾りつけがしてあり、宗教委員がキャンドルにあかりをともしたりして幻想的な雰囲気の中で行なわれました。聖歌や聖劇などでキリストの誕生をお祝いし、感動的な場面も何度かありました。

キリスト教を学んだことがなかつた私ですが、一年間宗教委員をやらせていただいたこ

とにより、キリストの教えを学ぶことができました。また、聖書を大勢の前で読んだことにより、自分に自信がつき前向きに行動したり、積極的に発言ができるようになりました。宗教委員での経験を生かし、人として大きく成長していけたらいいなと思います。



津田佳奈  
第49回保育科卒業生

私は小学校以外、カトリックの学校や幼稚園に通っていたので、キリスト教は入学する前から大変馴染み深いものでした。そして、就職先の保育園もキリスト教の園なので、私にとって切っても切れない関係です。

この二年間、いつも神様の存在が私を支えてくれていました。学校に行くのが苦痛でめげそうだった時も、小さい頃からの夢を諦めたくない強い思いと共に、神様は私達に耐えられない試練は与えられないという信念を思い出し、ここまで成長してこれたと感じます。

週に一度の礼拝も、二年間を振り返る上で欠かすことの出来ないものです。皆で歌う聖歌は、いつも心が洗われるような気持ちにさせてくれました。特に、『ちいさいひつじが』は、私の大好きな歌で、この歌を歌うと本当に安心した気持ちになり、大切な出会いのうちの一つです。

私は、常に威張らず、静かにかつ強い光をもてるように心掛けています。困っていたり悲しんでいる人が、自分の周りにいた時に親身になって相談にのるようにしています。それは、自分自身が落ち込んでいる時に、友達の明るい笑顔や真剣に話を聞いてくれる姿に何度も助けられたからです。だから私も、誰かのともし火になるような輝き出るような笑顔の持ち主になりたいと思うのです。せめて、私の中の光が、相手にとって元気の素に

なれるようお願いいたします。

人間は誰もが、自己中心的で、自分のこととなると浅いつもりで欲はどこまでも深くなります。でも、だからこそ自分より他人、と優先させ影ながら気を配れることが、保育者としてだけでなく人間として大切な要素だと思います。しかもそれは、故意にではなく、自然に表出されることが前提です。つまり、下心や見返りを求めて偽善行為をしても無意味なのです。そのことを身をもって教わることが出来ました。この学校で二年間過ごしてこれて本当に良かったです。



不破美穂子  
第5回専攻科  
保育専攻修了生

### 素敵な出会いの柳城生活

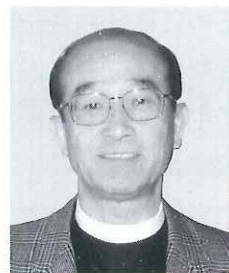
柳城生活は、人と保育とキリスト教に出会う4年間でした。私は入学時「キリスト教」が不安でした。十字架もアーメンも苦手です。しかし、菊地先生や土井先生、菅原先生に出会い学んでいく内に、共感できるものも感じるようになりました。そして、少しずつ苦手意識が薄れてきた頃、“サーバー募集”の案内を見ました。好奇心旺盛だった私は挑戦してみることにしました。最初は「信者でもないのにいいのかな？」との思いもありましたが、サーバーをやることによってキリスト教への興味を増すきっかけを得た気がします。私は、礼拝には欠かさず参加し、色々な話を聞きました。礼拝は、キリスト教のことだけでなく多くのことを学ぶ場であった気がします。

あなたはキリスト教徒ですか？と聞かれたことがあります。しかし私の高校は仏教校でしたし、全く違います。むしろ、保育科1年

の時、授業で「キリスト教徒になって欲しいとは思わない。こういう考えもあると知って欲しいだけ…」との先生の言葉を聞いて、ホッとしたことを今でも覚えています。世間には色々な考えがあって、その考えを知っていることは大切なことだと思います。柳城ではその様に《色々な考えや人があって、それでいいんだ》ということが一番学んだような気がします。

私は4月から保育者として子ども達との生活を始めます。子どもは一人ひとり様々な個性をもっていることでしょう。現在私は、その一人ひとりの個性と向き合って過ごす日々が楽しみです。柳城で学んだ数知れない出来事や知識と、様々な人との出会いを大切にしながら、精一杯、毎日を楽しみながら過ごしていきたいと思っています。卒業した今、私は自信をもって、柳城生で良かった！と言えます。また、礼拝に参加し続けたことが小さな自信にもなりました。ありがとうございました。

### キリスト教Q & A



司祭サムエル大西 修  
名古屋聖マタイ教会牧師

Q. 十字架って何ですか？ そして十字架にはどんな意味があるのですか？

A. 多くの教会では十字架が屋根の日立つ所や玄関、礼拝堂の正面などに設置されています。屋根の十字架などは「ここがキリスト教の教会です」という目印になっています。日本は少ないのですが、お隣の韓国に行くと、屋根に十字架が多いのには驚かされます。そ

れだけ教会がたくさんあるということです。十字架は今では教会のシンボルになっています。教会によっては礼拝堂内の正面の壁に十字架が掲げられていたり、聖卓の上に安置されていたりもします。

ところでクリスチャンは十字架を拝みません。十字架はシンボルであり、神ではないからです。十字架は言うまでもなく、イエスさまがエルサレム郊外のゴルゴタの丘（されこうべの場所）で、はりつけの刑に処せられた出来事に起源を持ちます。十字架を仰ぎ見るたびに、わたしたちはその出来事を思い起こします。それは、罪のない神の子であるイエスさまが、本来死ななければならない者に代わって死んでくださった、2000年前の歴史的な出来事です。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」と、死を前にして弟子たちにお話になったイエスさまは、その通りの生き方をされました。そこに神の愛がはっきり示されました。ですから十字架は神の愛のシンボルであると言えるのです。

ローマ教皇、枢機卿、修道士、修道女、聖公会の主教などは胸に大きな十字架をかけています。神の愛のシンボルである十字架をかけることによって、「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」と言われたイエスさまに従って生きていく決意を、日々新たにするためなのです。

最近、多くの女性たちや男性たちは十字架のネックレスやイヤリングを「格好いい！」と言って身に付けています。でも、もともと十字架はそんなに格好いいものではありませんでした。とても見るに忍びない<sup>むご</sup>惨たらしいものでした。今、それが格好いいものになるには、それを身に付ける人が十字架の持つ本来の意味をしっかりと理解して用いることです。

十字架の縦の棒は英語の大文字の I です。横の棒のーは、I（わたし）をきること、すなわち、kill（殺すこと）、切ること（cutす

ること）を意味します。自分を殺して（自分に死んで）他者を生かすこと、ここに十字架の持つ本来の意味があります。

イエスさまの十字架に示された神の愛を、生涯の歩みの中で実践していった弟子たちのうちで、十字架にかけられて殉教したと伝えられている人がいます。ペトロがその一人です。かれはローマで逆さ十字架にかけられました。サン・ピエトロ寺院の門扉にはその彫刻が残されています。またアンデレは斜めの十字架にかけられました。この×の十字架をアンデレクロスと言います。山梨県清里高原にある清泉寮の正面玄関にアンデレクロスを見ることができます。

## おしらせ

前期中に、水曜日の大学礼拝でお話を担当する方々は、以下の通りです。

- 4月9日 チャプレン、16日 大西修司祭  
23日 チャプレン、30日 市原信太郎聖職候補生  
5月7日 チャプレン、14日 三好禎之講師  
21日 卒業生、28日 チャプレン  
6月4日 チャプレン、11日 卒業生  
18日 チャプレン、25日 学生  
7月2日 チャプレン、9日 田浦学長  
☆7月16日 合同礼拝

### 『礼拝式文・さんび歌集』について

本年度より、「礼拝式文」、『古今聖歌集』、『さんび歌集』が『礼拝式文・さんび歌集』として一冊になりました。

水曜日の大学礼拝では、本書と『聖書』を持って出席してください。また入学式などの学校行事でもこれを使います。

2003年4月1日発行 第6号

発行所 名古屋柳城短期大学  
名古屋市昭和区明月町2-54

編集兼  
発行者 名古屋柳城短期大学 宗教委員会

印刷所 株式会社 丸和印刷



この印刷物は再生紙を使用しています。